

地方創生関連交付金活用事業に対する評価（案）
（平成30年度末時点）

<地方創生推進交付金>

1	宮城・山形の魅力ある地域資源の輸出拡大による攻めの農林水産業推進事業	---	1
2	世界が認める『酒処“YAMAGATA”』魅力発信プロジェクト	-----	2
3	地方航空路線を利用した新たな観光ビジネス創出事業	-----	3
4	フルーツラインJR左沢線を活用した「観光振興×まちづくり×公共交通」広域 連携プロジェクト	-----	4
5	酒田港の魅力を活かした賑わい向上事業	-----	5
6	岩手・宮城・秋田・山形連携による未来を創るものづくり企業等イノベーション 創出促進事業	-----	6
7	がんメタボローム研究推進支援事業	-----	7
8	バイオベンチャー事業化支援事業	-----	8
9	東北の「ものづくり」をけん引する山形・宮城・岩手の「産業人材・地域づくり」事業	--	9
10	若者活躍促進事業	-----	10
11	官民協働・地域間連携（中間支援プラットフォーム構築）による住民主体の地域 づくり推進事業	-----	11
12	ICTイノベーション創出事業	-----	12

<地方創生拠点整備交付金>

1	やまがた6次産業拠点施設整備事業	-----	13
2	水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設整備事業	-----	14
3	次世代型低コスト大型ハウス実証拠点整備計画	-----	15
4	庄内浜産水産物の付加価値向上のための研究研修施設整備事業	-----	16
5	土地利用型作物スマート農業拠点棟整備事業	-----	17
6	高温耐性・耐冷性検定拠点整備計画	-----	18
7	乳製品加工施設整備計画	-----	19
8	「園芸大国やまがた」の実現を支える園芸研究スマート拠点整備計画	-----	20
9	地域特性を活かした交流観光推進計画	-----	21

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	宮城・山形の魅力ある地域資源の輸出拡大による攻めの農林水産業推進事業	
事業計画期間	平成28年度～令和2年度	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
		観光立県山形で「しごと」を創出
事業の概要	両県が誇る多様な農林水産物について、連携して海外への販路拡大を図るとともに、これを契機にインバウンドの拡大につなげ、消費と交流人口の拡大の好循環によるしごとの創出を目指す。	
事業費(千円)	386,598	(うち交付金充当額) 193,299

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
製造品出荷額(食料品製造業)	目標値 (億円)	—	248	248	248	248	248	744	その他
	実績値 (億円)	3,011	195	162 (速報値)	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
農業産出額	目標値 (億円)	—	93	113	113	113	113	319	その他
	実績値 (億円)	2,022	107	52	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
海外でテストマーケティングを実施した商品数(農林水産物・加工食品の定番化の品目数)	目標値 (品目)	—	27	10	10	10	10	47	更なる取組みが必要
	実績値 (品目)	0	6	17	△4	—	—	19	

3 今後の方針等

輸出拡大が見込まれる国や地域を対象とした輸出アクションプラン策定や、首都圏に加え輸出向けバイヤーも対象とした商談会開催など、更なる国内外の販路開拓に取り組む。また、つや姫、雪若丸など農林水産物のブランド化に取り組む。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	輸出への新規取組者の増加や販路拡大につながっており、農林水産業の収益力向上が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	世界が認める『酒処“YAMAGATA”』魅力発信プロジェクト	
事業計画期間	平成29年度～令和元年度	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」創出
事業の概要	地理的表示(GI)「山形」の指定や国内外での日本酒品評会での高い評価など、本県の強みである「日本酒」のさらなるブランド価値向上及び県産日本酒を核とする県産品の取引拡大、さらには交流人口の拡大を図る。	
事業費(千円)	14,925	(うち交付金充当額)7,462

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県産日本酒のうち特定名称酒の生産量(課税数量)の増加	目標値(kl)	—	72.04	72.76	73.49	144.80	達成
	実績値(kl)	7,204.10	452.10	△ 243.40	—	208.70	
山形県産日本酒の輸出量の増加	目標値(kl)	—	35.75	39.30	43.28	75.05	達成
	実績値(kl)	357.48	48.20	58.64	—	106.84	
外国人延べ宿泊者数	目標値(人)	—	4,000	43,900	43,900	47,900	達成
	実績値(人)	88,200	29,630	43,630	—	73,260	

3 今後の方針等

日本酒の国内外での産地間競争において、差別化を図るためにも、高付加価値の酒造りを一層進展させるとともに、IWC審査会の開催やGI「山形」などの実績のPRを強化し、ブランド価値を高めていく。さらには、日本酒を中心に、ワインなど他の県産酒、酒器などの工芸品、肴となる食品などの県産品全体の振興に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	県産日本酒の認知度向上・販売拡大に結びついており、有効と認められる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	地方航空路線を利用した新たな観光ビジネス創出事業		
事業計画期間	平成28年度～令和2年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かし雇用を創出	安心と活力ある地域を創出
	具体的な施策	観光立県山形で「しごと」を創出	暮らしや産業経済活動を支える社会資本を整備促進
事業の概要	山形県と中京圏の双方向の観光資源「西の伊勢参り、東の出羽三山参り」を戦略的に「もうかるコンテンツ」にすることを目的に、山形・三重両県の関係者からなる「いせでわ」DMOを設立し、自立を目指して、新たなビジネスモデルの創出等の取組みを展開するとともに、山形～名古屋便の路線の維持・定着を確実なものとし、新たな航空路線開拓によるマーケット拡大、新たなストーリーづくりの展開など、地方航空路線の維持・拡充による観光ビジネスの創出を図る。		
事業費(千円)	50,000	(うち交付金充当額)25,000	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
名古屋便搭乗者数	目標値 (人)	—	33,691	2,500	2,500	2,500	2,500	38,691	概ね 順調
	実績値 (人)	36,309	31,898	△ 2,264	2,932	—	—	32,566	
山形空港全体搭乗者数	目標値 (人)	—	23,941	3,000	3,000	3,000	3,000	29,941	達成
	実績値 (人)	223,059	34,334	47,580	20,190	—	—	102,104	
「いせでわ」ホームページ、山形空港ホームページを合算したアクセス数:5カ年毎年10%増	目標値 (件)	—	58,711	64,582	71,040	78,144	85,958	194,333	策定時を 下回る
	実績値 (件)	587,108	45,174	△ 209,441	7,118	—	—	△ 157,149	

3 今後の方針等

団体旅行向けの利用拡大策や情報発信の強化により、さらなる搭乗者増加に取り組む。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	山形空港の航空路線の維持・拡充につながっており、観光やビジネスの拡大が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	フルーツラインJR左沢線を活用した「観光振興×まちづくり×公共交通」広域連携プロジェクト	
事業計画期間	平成28年度～令和2年度	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	観光立県山形で「しごと」を創出
事業の概要	西村山1市4町において、観光インフラ等であるフルーツラインJR左沢線を活用し、「雪」などの地域資源を活用した観光マーケティング(顧客満足度調査やイベント等)を実施することで、地域外からの新しい「ひと」の流れを広域観光において創り、その入口となり公共交通の核となる駅の周辺について創業支援を通じて活性化させ、その活性化を地域内各地に波及させるものである。	
事業費(千円)	23,500	(うち交付金充当額)11,750

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
観光客数	目標値 (人)	—	516,396	522,334	528,441	534,517	540,663	1,567,171	その他
	実績値 (人)	44,904,000	910,100	△ 691,700	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
創業支援対象者及び 創業者数	目標値 (件)	—	10	12	11	13	13	33	策定時を 下回る
	実績値 (件)	212	△ 29	△ 24	△ 10	—	—	△ 63	
左沢線乗車人員	目標値 (人)	—	2,644	2,684	2,784	2,826	2,866	8,112	その他
	実績値 (人)	176,295	△ 2,555	6,205	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
まちなか交流館の利 用者数	目標値 (人)	—	—	—	8,500	250	250	8,500	概ね 順調
	実績値 (人)	0	—	—	7,469	—	—	7,469	

3 今後の方針等

県内市町村や関係団体と連携しながら、海外に対して訴求力のある「雪」を通じたインバウンド拡大策に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	「雪」を活用した広域観光誘客により、冬期間の観光需要の底上げにつながっており、観光交流による地域活性化が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田港の魅力を活かした賑わい向上事業	
事業計画期間	平成30年度～令和2年度	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	観光立県山形で「しごと」を創出
事業の概要	山形県唯一の重要港湾である酒田港の歴史、文化、景観、水産品を観光資源として魅力を向上させ、さらにインバウンド誘客を拡大し、地域の消費促進を図るとともに、雇用機会を創出し、地域の活性化を図る。	
事業費(千円)	14,250	(うち交付金充当額)7,125

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県観光満足度(NPS)	目標値 (ポイント)	-	1.94	1.94	1.94	1.94	その他
	実績値 (ポイント)	20.88	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
県外からの観光客数	目標値 (千人)	-	400	400	400	400	その他
	実績値 (千人)	19,800	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
みなとオアシス酒田の主要4施設 の総入込客数	目標値 (人)	-	35,052	35,052	35,052	35,052	策定時を 下回る
	実績値 (人)	629,844	△ 41,444	-	-	△ 41,444	
山形県観光消費額	目標値 (億円)	-	300	300	200	300	その他
	実績値 (億円)	1,700	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	

3 今後の方針等

今後も酒田港への高い評価を維持し続け、外航クルーズ船の寄港を定着化させるため、顧客満足度の高い受入態勢を強化する。あわせて、観光拠点の整備を計画的に進めるとともに、既存施設についても、誘客イベント等の開催により新たな取組みを実施することで、入込客数の増大につなげる。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	外航クルーズ船の寄港の定着化により、観光客数や消費額の拡大が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	岩手・宮城・秋田・山形連携による未来を創るものづくり企業等イノベーション創出促進事業	
事業計画期間	平成28年度～平成30年度	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出
		山形の産業をけん引する人材を育成
事業の概要	高付加価値産業(自動車、有機エレクトロニクス、バイオテクノロジー)への地元中小企業の参入や取引拡大、マーケティング支援、学術機関と連携した技術開発や人材育成等に取り組むことで、企業の「稼ぐ力」を高め、「質の高い雇用」を創出し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環を確立する。	
事業費(千円)	157,830	(うち交付金充当額) 78,915

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
関係各県のものづくり関連分野の製造品出荷額等(ものづくり関連分野の製造品出荷額)	目標値 (億円)	—	657	657	657	1,971	その他
	実績値 (億円)	26,081	553	2,244 (速報値)	統計値 未発表	統計値 未発表	
関係各県の産業振興施策による雇用機会創出者数(立地補助金による新規雇用創出数)	目標値 (人)	—	32	32	32	96	達成
	実績値 (人)	0	158	325	3	486	
関係各県への県外からの移住・定住者数(移住サポートセンター等を通じた移住者数)	目標値 (人)	—	40	60	80	180	概ね順調
	実績値 (人)	0	42	43	66	151	

3 今後の方針等

自動車関連産業への新規参入・取引拡大など高付加価値なものづくりの強化と、国内市場の縮小が見込まれる中、海外取引に意欲ある企業の掘り起こしなど海外展開の促進による取引拡大等に取り組む。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	自動車関連技術展示商談会の開催や有機EL照明の量産化への支援、バイオ研究成果を活用した事業化の推進により、成長分野での取引拡大や雇用創出が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	がんメタボローム研究推進支援事業	
事業計画期間	平成28年度～令和2年度	
総合戦略における 位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な 施策	本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出
事業の概要	慶應義塾大学先端生命科学研究所及び日本有数のがん研究成果の蓄積と豊富な臨床検体を有する国立がん研究センターと連携し、世界最先端のメタボローム解析技術を用いて、がん特有な代謝メカニズムの解明とデータベース化を図り、研究成果の事業化を推進する。	
事業費(千円)	106,461	(うち交付金充当額)53,231

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
がんのメタボローム 研究に有用な検体を 選定し行うメタボローム 解析数	目標値 (件)	—	50	300	400	400	400	750	達成
	実績値 (件)	0	50	410	639	—	—	1,099	
がん特有な代謝物の 発見数	目標値 (件)	—	0	1	2	2	2	3	達成
	実績値 (件)	0	0	1	2	—	—	3	
がん研究センターと の連携した企業との 共同研究も含めた共 同研究数	目標値 (件)	—	0	0	0	1	1	0	達成
	実績値 (件)	0	0	0	2	—	—	2	

3 今後の方針等

慶應先端研、国立がん研究センター、庄内地域産業振興センターの3者による共同研究は、計画通り進められており、今後も引き続き「がんメタボローム研究連携協議会」により進捗管理を行っていくとともに、県内企業との取引や共同研究を推進し、関連産業の集積に向け支援していく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	着実にごがんメタボローム共同研究が進捗しており、有効と認められる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	バイオベンチャー事業化支援事業		
事業計画期間	平成30年度～令和2年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出	
事業の概要	慶應義塾大学先端生命科学研究所の革新的研究シーズをもとに立ち上がったバイオベンチャーを地域におけるバイオ関連産業を牽引する担い手とし、バイオテクノロジー産業を中心に地域経済が循環するエコシステムを形成する。		
事業費(千円)	28,801	(うち交付金充当額)14,401	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
バイオベンチャーと県内企業との共同開発の実施件数	目標値 (件)	-	2	3	3	2	達成
	実績値 (件)	0	2	-	-	2	
バイオベンチャーと県内企業との共同開発により事業化が実現した件数	目標値 (件)	-	1	2	3	1	達成
	実績値 (件)	0	1	-	-	1	
バイオベンチャーの雇用者数	目標値 (人)	-	5	10	15	5	達成
	実績値 (人)	256	55	-	-	55	

3 今後の方針等

バイオテクノロジー関連産業を拡大していくため、バイオベンチャーの事業化、県内企業とのマッチング等に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	バイオベンチャーと県内企業との共同開発や事業化、雇用者の拡大が着実に進捗しており、有効と認められる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北の「ものづくり」をけん引する山形・宮城・岩手の「産業人材・地域づくり」事業		
事業計画期間	平成28年度～令和2年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	山形に住もう・帰ろうプロジェクトを推進
	具体的な施策	山形の産業をけん引する人材を育成	若者就業支援プログラムを展開
事業の概要	地域産業振興の中核となる人材の確保・育成や企業へのマッチングを行うと同時に、首都圏等からのプロフェッショナル人材のUIJターンの流れを加速化するため、官民協働により情報発信と受入体制の強化を図り、移住から定着に至るまでの一貫した支援を行う。子育て世代や障がい者等の就業を促進するため、労働意欲の喚起や就業支援を行うほか、雇用側である企業の意識改革を促し、雇用環境の改善を支援する。		
事業費(千円)	247,928	(うち交付金充当額)123,464	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
製造品出荷額(ものづくり関連+食品製造業)	目標値(億円)	—	905	905	905	905	905	2,715	その他
	実績値(億円)	29,092	748	2,406 (速報値)	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
UIJターン就業者数(Uターン情報センター紹介による就職者数)	目標値(人)	—	40	40	40	40	40	120	達成
	実績値(人)	0	72	77	67	—	—	216	

3 今後の方針等

多様な人材の確保・育成のため、プロフェッショナル人材と県内企業とのマッチング強化や、県外大学生の県内回帰に向けて、オールやまがた人材確保・生産性向上推進協議会を推進主体とした人手不足対策に取り組む。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	プロフェッショナル人材のUIJターンや、若者の県内就職促進、女性の就業支援、県内におけるベンチャー創出支援などにより、県内産業を支える人材の育成・確保に結びつくことが期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	若者活躍促進事業		
事業計画期間	平成30年度～令和2年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	山形に住もう・帰ろうプロジェクトを推進
	具体的な施策	本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出	若者就業支援プログラムを展開
事業の概要	次代を担う子ども・若者たちが山形に対する誇り・愛着を持ち、地元で働く意識を高めるため、本県の地域資源や地元企業の魅力を知る機会を創出し、さらに、若者の創業支援等を行うことで、若者の県内定着・回帰や首都圏等の若者移住を促進し、本県へのひとの流れを創出する。		
事業費(千円)	28,224	(うち交付金充当額)14,112	

2 重要業績評価指標 (KPI)

重要業績評価指標 (KPI)		事業開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
県の支援による若者の創業件数	目標値 (件)	-	10	10	10	10	達成
	実績値 (件)	0	40	-	-	40	
県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した移住者数	目標値 (人)	-	440	440	440	440	その他
	実績値 (人)	0	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	

3 今後の方針等

<p>小中高校の各段階におけるベンチャーマインド育成から、新たな発想と意欲を持った若者の創業支援を一層強化していく。また、やまがたCAMP(暮らしと仕事)事業実施により構築した、若者向けの体験プログラムモデルを活用し、市町村が主体となった取り組みを支援していく。</p>

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	若者による創業件数が着実に進捗しており、有効と認められる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	官民協働・地域間連携(中間支援プラットフォーム構築)による住民主体の地域づくり 推進事業	
事業計画期間	平成28年度～令和2年度	
総合戦略における 位置づけ	基本目標	安心と活力ある地域を創出
	具体的な 施策	子育てや介護、障がい者の自立等を地域ぐるみで支援 文化等を通して地域の愛着・誇りを醸成
事業の概要	人口減少下において、地域で暮らし続けたいという住民の要望を叶えるためには、地 域住民が主体となって、暮らしに必要な機能やサービスを補っていくことが重要であり、 山形県・市町村・中間支援組織で中間支援プラットフォームを構築し、官民連携・地域 間連携による住民主体の地域づくりを推進する。	
事業費(千円)	61,378	(うち交付金充当額)30,689

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
中間支援プラッ トフォームによる住民 主体の地域活動拠点 (地域運営組織)形成	目標値 (箇所)	—	0	12	25	42	50	37	達成
	実績値 (箇所)	0	0	10	36	—	—	46	
任期終了した地域お こし協力隊員の本県 定住率	目標値 (%)	—	1.0	1.0	2.0	8.0	13.0	4.0	その他
	実績値 (%)	40.3	27.6	5.1	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	

3 今後の方針等

住民主体の地域づくり推進のため、プラットフォームを構成する県・市町村・中間支援組織が担うべき支援
内容の明確化・共有化を図り、より効果的な地域運営組織の支援体制構築に取り組む。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	地域運営組織が着実に形成されており、有効と認められる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	ICTイノベーション創出事業		
事業計画期間	平成30年度～令和2年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	安心と活力ある地域を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	暮らしや産業経済活動を支える社会資本を整備促進
事業の概要	ICTを活用し、作業負担の軽減や生産性の向上につながる「スマート農業」の普及を図るとともに、買物等の生活支援サービスの提供等を行うことで、産業活力の維持・拡大及び安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進する。		
事業費(千円)	18,846	(うち交付金充当額) 9,423	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
水稻栽培における1日当たり所得	目標値 (円)	-	0	389	483	0	その他
	実績値 (円)	13,559	事業実施期間中のため、目標値をゼロに設定				
水稻10a当たり労働時間の短縮時間数	目標値 (時間)	-	0	0.6	0.7	0.0	その他
	実績値 (時間)	0	事業実施期間中のため、目標値をゼロに設定				

3 今後の方針等

スマート農業のモデル実証で得た実証技術を県内へ普及していくとともに、ICTを活用できる人材の育成に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	スマート農業や人材育成などICT活用による産業活力の維持・拡大に結びつくことが期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	やまがた6次産業拠点施設整備事業		
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	「食産業王国やまがた」の実現を目指し、農業者や食品製造業者が県産農産物を活用した加工品開発に取り組んで付加価値の高い農業生産を拡大する施設を整備する。また、この施設において、研修会や各種講座を開催し、高校生や大学生等の若い人材の育成や大学との連携を進めていく。		
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
6次産業拠点施設を活用した加工品販売額の増加額	目標値 (千円)	-	0	0	23,000	23,000	24,000	23,000	更なる取組みが必要
	実績値 (千円)	0	0	0	1,542	-	-	1,542	
6次産業拠点施設を活用した新商品販売件数	目標値 (件)	-	0	0	10	10	10	10	更なる取組みが必要
	実績値 (件)	0	0	0	3	-	-	3	
県内農業者等による加工品販売額の増加額	目標値 (千円)	-	30,000	30,000	50,000	60,000	80,000	110,000	概ね 順調
	実績値 (千円)	3,050,000	95,000	19,000	△ 5,000	-	-	109,000	

3 今後の方針等

農産加工グループなどに6次産業拠点施設の利活用方法を周知しながら、県産農産物を活用した新商品開発の増加に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、県産農産物を活用した加工品開発の増加が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設整備事業	
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月	
総合戦略における 位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な 施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
事業の概要	水稻種子の基となる原々種および原種種子生産を行っている農業総合研究センター内に、多種多様な品種を効率良く乾燥調製して複数年冷蔵保管できる水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設を整備し、米に対する消費者ニーズの変化に速やかに対応できる種子供給体制を構築する。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
消費者ニーズにあっ た新品種等の導入に よる山形県産米全銘 柄品種の平均価格 (60kg当たり)の向上	目標値 (円)	-	849	32	15	50	71	896	その他
	実績値 (円)	11,226	854	808	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
水稻原々種等専用乾 燥調製・貯蔵施設の 活用による供給可能 な原種種子の品種数 の増加	目標値 (品種)	-	0	1	1	0	1	2	達成
	実績値 (品種)	19	1	1	0	-	-	2	
県が育成した品種に おいて米の食味ラン キング最高位「特A」 獲得する品数の拡大	目標値 (銘柄)	-	0	0	1	0	1	1	更なる取 組みが必 要
	実績値 (銘柄)	2	0	0	0	-	-	0	

3 今後の方針等

水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設により、気象変動等に対応した高品質・良食味栽培体系を構築し、「特A」を獲得する品種の増加に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、多種多様な種子の提供が可能となり、県産米の販売額向上が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	次世代型低コスト大型ハウス実証拠点整備計画	
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
事業の概要	園芸品目の産出額増加と所得向上を図るためには、周年で生産が可能となる施設園芸について重点的に取り組むことが重要となっている。そこで東北日本海側の気候に対応した低コスト・省エネルギー環境制御型の次世代型低コスト大型ハウスを整備して、本県の気候に適合した栽培体系や施設の管理方法を開発実証し、県内一円に普及できる技術を構築する。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額) —

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
トマトの産出額の増加	目標値 (千円)	—	0	100,000	200,000	300,000	300,000	300,000	その他
	実績値 (千円)	3,600,000	0	400,000	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
トマト生産経営体あたりの販売額の増加	目標値 (千円)	—	140	140	140	140	140	420	その他
	実績値 (千円)	3,500	0	389	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	

3 今後の方針等

既存農家の規模拡大や、新規生産者の掘起こしに取り組むとともに、次世代型低コスト大型ハウス実証拠点などを活用した研修会等を通して技術の普及拡大に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設を活用して構築された周年生産体系の新技术により、園芸作物の生産拡大が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	庄内浜産水産物の付加価値向上のための研究研修施設整備事業	
事業計画期間	平成29年3月～平成30年4月(事故繰越)	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
事業の概要	庄内浜産水産物のブランド化、加工品開発による高付加価値化を推進するため、水産物の鮮度保持等のための検査・研究機能、水産関係者による加工品試作・開発機能、水産物や漁業への関心を高めるための研修機能を持った研究研修施設を整備する。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
海面漁業・養殖業の生産額のうち「庄内おぼこサワラ」の平均単価(kg当たり)の上昇率	目標値(%)	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	6.0	達成
	実績値(%)	0	4.2	31.5	△ 0.3	-	-	35.4	
本施設を活用して庄内浜産水産物として新たに開発したブランドの数	目標値(件)	-	0	1	1	2	2	2	達成
	実績値(件)	0	0	1	1	-	-	2	
東京市場に出荷した庄内浜産水産物の出荷額の上昇率	目標値(%)	-	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	策定時を下回る
	実績値(%)	0.0	△ 28.0	△ 70.7	76.5	-	-	△ 22.2	

3 今後の方針等

庄内浜水産物のブランド化、加工品開発による付加価値を推進するため、鮮度保持手法の開発や水産関係者による加工品試作の促進などに取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、水産加工品の開発の増加や庄内浜産水産物の販売額向上が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	土地利用型作物スマート農業拠点棟整備事業	
事業計画期間	平成30年3月～平成31年3月	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
事業の概要	高品質・良食味米の安定生産を可能とするよりの確な生育診断を行うため、山形県農業総合研究センター内にスマート農業拠点棟を整備する。また、総合気象観測装置など新たに整備する機器で得られるデータを解析し、気象変動等に対応した高品質・良食味栽培体系を構築する。併せて、拠点棟内に整備した研修室を活用し、農業者に対しスマート農業の速やかな普及を図る。	
事業費(千円)	51,169	(うち交付金充当額)25,585

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	H33 増加分	H34 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
水稻の1日当たり所得	目標値 (円/日)	-	0	389	483	594	730	0	その他
	実績値 (円/日)	13,559	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
水稻の10a当たり労働時間の短縮	目標値 (時間/10a)	-	0.0	0.6	0.7	0.8	0.9	0	その他
	実績値 (時間/10a)	0.0	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
生育診断による山形県産米の食味ランキング「特A」の獲得品種数の増加	目標値 (数)	-	0	1	0	1	0	0	その他
	実績値 (数)	2	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						

3 今後の方針等

高品質・良食味米の安定生産に向けて、データを蓄積・解析し、気象変動等に対応した栽培体系の構築に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、高品質・良食味米の安定生産が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	高温耐性・耐冷性検定拠点整備計画	
事業計画期間	平成30年3月～平成31年3月	
総合戦略における 位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な 施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
事業の概要	高品質米の安定生産を可能とする高温耐性と耐冷性を兼ね備えた品種を、早急に育成するため、山形県農業総合研究センター水田農業試験場内に、より大規模な高温耐性検定施設と、より高性能な耐冷性検定施設を整備する。これら双方の施設を利用することで、より強い高温耐性とより強い耐冷性を兼ね備えた新品種の開発を迅速に行う。	
事業費(千円)	52,161	(うち交付金充当額) 24,058

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	H33 増加分	H34 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
耐冷性及び高温耐性 を兼ね備えた品種の 育成数	目標値 (数)	-	0	0	0	0	1	0	その他
	実績値 (数)	0	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
水稻の10a当たりの 収量	目標値 (kg)	-	0	0	2	5	5	0	その他
	実績値 (kg)	598	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
水稻の一等米比率	目標値 (%)	-	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	その他
	実績値 (%)	94.0	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						

3 今後の方針等

高温耐性と耐冷性を兼ね備えた新品種の開発に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、新品種の開発、高品質米の安定生産による収量増加が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	乳製品加工施設整備計画		
事業計画期間	平成30年3月～平成31年3月		
総合戦略における 位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な 施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	酪農の6次産業化を担う実践力を備えた人材育成を図るため、チーズ等の乳製品加工に係る基本的な製造技術の習得から商品化や販売・ブランド化までを一貫して学ぶ実践教育の体制づくりを進め、カリキュラムに基づく体系的な実践学習を行っていくための乳製品加工施設を整備する。		
事業費(千円)	60,096	(うち交付金充当額)30,048	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	H33 増加分	H34 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
乳製品加工施設を活用した農林大学の乳製品の売り払い収入額の増加	目標値 (千円)	-	0	120	264	300	60	0	その他
	実績値 (千円)	0	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
乳製品加工施設を活用した学習、研修実施による乳製品加工技術者数	目標値 (人)	-	0	25	25	25	25	0	その他
	実績値 (人)	0	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
本施設を活用した乳製品の開発・商品販売件数	目標値 (件)	-	0	1	1	1	1	0	その他
	実績値 (件)	0	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						

3 今後の方針等

乳製品加工施設を活用し、酪農の6次産業化を担う実践力を備えた人材育成に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、乳製品加工技術者の増加や乳製品開発の拡大が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	「園芸大国やまがた」の実現を支える園芸研究スマート拠点整備計画	
事業計画期間	平成30年3月～令和元年5月 ※事故繰越	
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
事業の概要	「園芸大国やまがた」の実現を、技術開発の面でけん引し、本県の園芸に新たなイノベーション、生産性革命を起こす技術を開発するため、園芸試験場に、ICT化に対応した研究施設を整備するなど、研究拠点の機能強化を行う。	
事業費(千円)	483,214	(うち交付金充当額)241,607

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	H33 増加分	H34 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
長期貯蔵出荷されたぶどう「シャインマスカット」の量	目標値(t)	-	0	5	5	5	6	0	その他
	実績値(t)	14	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
本県にあったスマート(次世代型)ハウスの導入箇所	目標値(箇所)	-	0	1	1	1	1	0	その他
	実績値(箇所)	2	H30年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定						
園芸試験場で新たに開発した品種(さくらんぼ「山形C12号」、食用菊「菊名月」)の導入面積	目標値(ha)	-	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	その他
	実績値(ha)	0.0	施設整備期間中のため実績なし						

3 今後の方針等

園芸試験場にICT化に対応した研究施設を整備を進めていく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、長期貯蔵技術や生産性向上技術などの技術開発、県内への技術普及が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	地域特性を活かした交流観光推進計画	
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月	
総合戦略における 位置づけ	基本目標	安心で活力ある地域を創出
	具体的な 施策	県と市町村間における広域連携を促進
事業の概要	<p>最上町は、赤倉温泉地区の観光交流拠点施設となるよう、産地直売所、露天風呂及び観光交流スペース等を整備する。</p> <p>山形県は、効果促進事業として、最上小国川流水型ダムのライブ映像、県内の河川や道路などの防災情報及び最上小国川沿いの四季折々の映像製作などを行う。</p>	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	H31 増加分	H32 増加分	評価対象年度 (H30)までの 増加分累計	進捗 状況
「おくのほそ道」赤倉 ゆけむり館の利用者 数	目標値 (人)	-	300	1,300	2,300	4,300	6,600	3,900	達成
	実績値 (人)	4,204	施設整備期間中 のため実績なし		53,708	-	-	53,708	
「おくのほそ道」赤倉 ゆけむり館の利用料 金額	目標値 (千円)	-	2,425	3,940	5,455	6,970	8,485	11,820	達成
	実績値 (千円)	1,515	施設整備期間中 のため実績なし		13,069	-	-	13,069	
赤倉地区内の観光入 込客数	目標値 (人)	-	4,000	8,000	12,000	16,000	20,000	24,000	達成
	実績値 (人)	43,669	施設整備期間中 のため実績なし		25,846	-	-	25,846	

3 今後の方針等

最上小国川流域の観光振興のため、最上小国川流水型ダムの完成を契機とした、情報発信の充実に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、観光交流の拡大が期待できる。